



2008年2月6日(水)安田 裕子 先生

ギロックのピアノ教材を使って



W.L.ギロック氏に師事された安田裕子先生をお迎えし、公開講座が行われました。

『私はためになることしか書かなかった』と断言したギロックのピアノ教材が持つ大きな力を知って頂きたい。』

『素敵な心のある音楽は、感性から生まれてきます。』

世界の国々の音楽仲間との交流をはかり、ギロック音楽の普及と研究に努められている安田先生。

現在カナダにお住まいで、この講座の翌日には帰国されるという大変ご多忙の中、お越しいただきました。

参加された理由 講座が終わって

前回、伊藤仁美先生のセミナーを聞き、違う角度からギロックの話を伺い、未知の曲を知り、生徒の教材に生かしたいと思ったので、いろんなイメージが許される音楽で、ますます世界が広がった。ワルツにも色々な曲があると思った。

ギロックの曲は好きな方ですが、曲の解釈に自信がなかったのです。

イメージをふくらませて弾くという事がわかっていて足りなかったと思います。楽しいお話を忘れずに、これから楽しいレッスンをしていきたいです。

ギロックの曲に興味があったので、参加させていただきました。

先生のお話はとても面白く、心温まる感じがいたしました。これからも楽しいピアノを伝えられるよう、頑張りたいです。

ギロックの教材を今までほとんど使用していなかったが、これから使ってみたかったため。今まで、古典的な教材を使用していたが、ギロックの曲は楽しく使えそうです。4月から楽しく副教材として使用してみます。

ギロックのテキストを使っています。子供たちの好きなテキストなので、安田先生のお話を聞くのが楽しみでした。

ギロックの音楽のポイント、そして自分の表現について改めて考えることが出来ました。

ギロックの曲に興味があり、勉強したかったのです。

こんなに1つの曲に奥深いものがあるのかと、考えさせられました。

ギロックのテキストは10年程前からレッスンに使用しており、安田先生の講座も3回目です。現在市川のギロックの会にも参加しております。ギロックの作品は、知れば知るほど置くが深く、自分自身の勉強になります。

イマジネーションの大切さが本当によくわかりました。いろんな機会を作って1つでも多くの曲を取り上げて頂けたら嬉しいです。

ギロックは自分が習っていた頃はなかった教材で、すごく新鮮でした。子供にも弾かせたくて、使い始めています。

期待以上に楽しいセミナーでした。是非またお目にかかりたいです。



ギロックの1曲を聴き、グループごとに物語を作成・発表。同じ曲で、「ジャックと豆の木」「洞窟の探検」「泥棒」他、色々な物語が出来ました。



安田先生、ありがとうございました